

群馬ふるさとづくり賞 受賞団体決定

群馬県地域づくり協議会では、「群馬ふるさとづくり賞」を設け、活力ある地域づくりに取り組んでいる優れた団体等を顕彰しています。

本年度も、県内各地で地域づくり活動を行う団体から応募があり、「主体性」「地域性」「継続性」「先駆性」等を総合的に審査した結果、「桐生からくり人形芝居保存会」が群馬ふるさとづくり賞に、「うすいの歴史を残す会」が群馬ふるさとづくり奨励賞に輝きました。また、受賞団体については、(財)あしたの日本を創る協会主催の「あしたのまち・くらしづくり活動賞」に推薦いたしました。

本賞は地域づくりへの活動の成果をアピールする良い機会となり、魅力ある地域づくりのさらなる進展を図ることと思います。来年度もみなさんからのご応募をお待ちしております。



群馬ふるさとづくり奨励賞 うすいの歴史を残す会

代表者：柴崎 恵五 市町村：安中市
開始年：平成 5 年 会員数：75 名

古代より交通の要衝として栄えた碓氷の歴史の発掘再生により衰退過疎化した郷土の発展を図る。これまでに古代まつり・防人招魂碑慰霊祭・碓氷路交通殉難者慰霊祭等を実施する中で、郷土の伝統ある歴史と誇りを次世代に継承。



喜びの声 代表 柴崎恵五さん



うすいの歴史を残す会は、碓氷線の廃止に伴い地域が沈滞ムードになり、次々に住民が引っ越してしまうという状況の中で、郷土の歴史を残し、次世代に活気ある郷土の伝統を継承させたいという思いから発足しました。

事業としては、古代祭りや山吹祭り、慰霊祭などをはじめ、旧東山道の整備などを行っています。その他にも碓氷関所の様々な記録をまとめた本を出版するなど、会員は日々頑張っております。そんな時に賞をいただき、会長としても会員に激励出来るので本当にありがたいと思います。今後とも一層頑張っって郷土のために尽くしていきたいと思ひます。

講評

読売新聞前橋支局 小笠原 伸 支局長

今年度応募があった団体は、いずれも賞の目的に沿う熱心な活動を繰り広げられていて、甲乙つけがたいというのが正直な気持ちでございました。

今年度の群馬ふるさとづくり賞を受賞した、桐生からくり人形芝居保存会の皆さんについてですが、発足以来実績を積み、各種の賞を受賞されているということで、一定の評価が定まった感があります。地域の伝統文化の継承に対して地道な取り組みをされていて、主体性・地域性という観点からも審査員から高い評価を得ました。メディア等を通じて外への発信も充実しており、群馬をアピールする活動として頼もしい存在です。後継者をどのように育てていくのが課題になるかと思いますが、今後の取り組み

みに期待したいです。

続いて、奨励賞を受賞したうすいの歴史を残す会の皆さんについてですが、平成5年の発足以来、歴史遺産の発掘・再生と郷土の発展をテーマに掲げて活動され、交通の要衝であったうすいの歴史の発掘を核に、古代まつり、防人招魂碑慰霊祭等々、地域の人たちを巻き込んだ活動を展開されていることで街の活性化に寄与しようという思いが強く伝わってきました。次世代の若い方たちの参加もあると聞いていますので、今後も、息の長い活動になることを期待したいと思ひます。



群馬ふるさとづくり賞 桐生からくり人形芝居保存会

代表者：堀内 幹本 市町村：桐生市
開始年：平成 9 年 会員数：90 名

全国的に絶滅してしまった人形芝居を復元するために有志で、団体を設立。現在は桐生からくり人形芝居館での上演や移動舞台公演をはじめ、子どもたちを対象に「からくり人形芝居実習体験」・「モノづくり教室」の実習体験を実施。



喜びの声 代表 堀内幹本さん



我々桐生からくり人形芝居保存会は、発足以来復元作業を中心に取り組んできました。桐生にしか残っていない、江戸文化の流れを汲むからくり人形芝居ということで、

出来るだけ多くの人に見ていただきたい、また、からくり人形芝居というものを知っていただきたいということで、出張公演や人形芝居館での芝居をボランティアとして皆で支え合いながらやってまいりました。

そんな中、宣伝も頭に置きながら活動してきたわけですが、その功があつてか、最近ではテレビや新聞などのメディアに取り上げていただくようになり、県内・県外からも人形芝居を見に来てくれる人が増えてきました。「出張公演をしてくれないか」という依頼も出てまいりましたので、こちらも力を入れていきたいと考えております。

賞をいただいたことは、会員全員の励みにもなりますし、内外に対する宣伝にもなりますので、さらに活動を進めやすくなると思います。この賞をもらったことを境に、また皆で頑張っってやっていきたいなと思ひます。